

## 高い技術力を活かした優れたソリューションを 台湾で提供するソシオネクスト台湾

ソシオネクストは、システムLSI「SoC(System-on-Chipの略)」の設計・開発と販売を事業とする企業である。日本国内のほかに北米、ヨーロッパ、アジア各地の拠点で事業展開している。台湾拠点であるソシオネクスト台湾では、アドバンテックや鴻海などの台湾現地大手企業とのパートナーシップも構築しながら、台湾企業を顧客とするビジネスを行っている。台湾におけるビジネスや今後の展望について、宮原董事長を訪ねお話を伺った。



ソシオネクスト台湾  
宮原宏明董事長

### —会社設立の経緯について

ソシオネクストは、富士通とパナソニック、二社の半導体事業部門が統合して設立された背景をもつ会社で、日本での設立は2015年3月です。統合前の従来拠点も引き継ぎながら、世界各地に拠点をもっています。台湾の拠点は、同じく2015年4月に設立しています。基本的には、海外でのビジネスモデルも日本国内と同じく自社開発のSoCを顧客に販売するものですが、台湾にはODM/EMS企業が多く、こうした企業向けのSoC関連ビジネスを目的に台湾進出しました。

### —台湾での事業内容について

台湾企業ががてがける電子機器製品は非常に多岐にわたるため、事業展開にあたりまずはテレビやカメラ向けの映像・画像処理用のSoCに注力しました。最近はこちらに加えて5Gやcloud向けなどのインフラ系・産業・ネットワーク系の商談も活発化しています。台湾拠点には、営業機能とローカルでの顧客サポート機能ももっています。これら機

能は他の海外拠点と同様なのですが、実は台湾拠点独自の機能がひとつあります。

台湾は、現在世界最先端の半導体製造集積地となっており、台湾国内でサプライチェーンが完結しています。ファブレス企業である当社の製品は、TSMC、ASEといった業界世界トップの台湾企業で製造していますが、これら台湾企業に対し生産指示などをここ台湾拠点から直接連絡する機能も持っており、ファブ生産情報の情報集約拠点としても機能しています。

一方製品のアプリケーションをみると、テレビの販売台数は新型コロナウイルスの影響もあり直近売上台数は伸びているものの市場規模自体はほぼ現状どおりで、カメラは特にコンパクトデジカメ市場がカメラ機能つきスマートフォンの台頭で市場が大きく縮小しています。こういった状況のなか、テレビやカメラといったコンシューマー向け製品用のSoC以外にも、昨今引き合いが増えている産業用のネットワークカメラやHPCなどいわゆるプロフェッショナル向け分野を強化していくため、ビジネス推進体制の最適化をは

## 日本企業から見た台湾

かっているところです。

また、台湾顧客に対しては、ある程度ソリューションとして形になっている状態で客先に持ち込むスタイルのビジネスが必要と考えているため、2年ほど前からボックス化した状態でのリファレンスソリューションの提供を台湾顧客向けに始めています。映像の圧縮・伸張や、4K、8K 対応ソリューションをこうしたボックスの形で提案する営業活動を行っています。

また、コロナ禍の影響でオンライン会議利用が増えているため、ネットワークカメラやテレビ会議システム向けの問い合わせが多くなっているほか、米中貿易摩擦の影響でハイシリコン製のSoC採用を避ける動きがあり、ハイシリコンの代替となるソリューションの引き合いも増えてきています。こういった映像処理に関しては、長年てがけ培ってきた技術であり、経験、知見の蓄積が豊富にあり、また台湾拠点では台湾現地スタッフによる技術支援やサポート体制を整えています。

### —台湾ビジネスで日本と異なる点

先ほども説明したとおり、半導体のサプライチェーンが国内で完結しているほか、関連する製造業などの層も厚く、半導体業界のさまざまな情報が自由に入手できる環境です。そのため台湾の顧客は競合 SoC ベンダーを含め各方面の情報を精通しており、それらを踏まえて商談に臨まなければならないシビアな一面があります。

一方で、情報量が多い台湾の環境は、各方面から新たなビジネスモデルの情報が入ってくるほか、半導体業界の第一線の情報が入手しやすいといったメリットもあり、台湾は半導体業界に関する情報収集の場として強みがあると考えています。

### —今後の事業について

台湾でも5G普及促進のためのさまざまな試みが行われ

ていますが、最近、台南市でローカル 5G 網構築のための開発協力プロジェクトが立ち上がりました。5Gで実現する大量データ高速伝送のデモには、高解像度映像を駆使したシステムがアピールとして適しているということで、当社からも台湾クアンタグループの QCT や NTT データなどの企業とともに参加を表明し、関連する技術の提供を予定しています。

高画質の映像処理ソリューションを高度な技術と SoC で提供できるのが当社の強みのひとつです。この強みを活かしながら、プロフェッショナル向け製品に軸足を置いた事業を進めていきますが、具体的なアプリケーションやユースケースにはさまざまな可能性があり、ビジネスモデルも含めて調査を進めているところです。

また、事業を進めていくなかで発生するサポート業務は、営業から開発段階、各種検証やカスタム対応など非常に幅広く、また多くのリソースが必要です。今後は顧客サポートに関しても台湾現地パートナーとの協力も視野にいれながら、サポート体制をよりブラッシュアップしていくことを考えています。

### —ありがとうございました

台湾索思未来科技股份有限公司の基本データ

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 会社名  | 台湾索思未来科技股份有限公司<br>(ソシオネクスト台湾) |
| 董事長  | 宮原宏明                          |
| 資本金  | 2,900万台湾ドル                    |
| 設立   | 2015年4月                       |
| 事業内容 | SoC製品の台湾における販売および技術支援         |

注)2020年12月の情報による  
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理